



平成 20 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 ビズネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 野末 正博
(J A S D A Q ・ コード 3 3 8 1)
問合せ先 : 代表取締役副社長 高柳 通明
電話 03-5860-1000

平成 20 年 5 月期通期 (連結・個別) の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 7 月 11 日平成 19 年 5 月期決算短信に公表いたしました平成 20 年 5 月期 (平成 19 年 5 月 21 日～平成 20 年 5 月 20 日) 通期 (連結・個別) の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 5 月期連結業績予想の修正 (平成 19 年 5 月 21 日～平成 20 年 5 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	23,200	110	140	60
今回修正 (B)	20,756	△126	△98	△79
増減額 (B-A)	△2,444	△236	△238	△139
増減率 (%)	△10.5	—	—	—

(単位: 百万円)

2. 平成 20 年 5 月期個別業績予想の修正 (平成 19 年 5 月 21 日～平成 20 年 5 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	23,200	110	140	60
今回修正 (B)	20,756	△126	△98	△79
増減額 (B-A)	△2,444	△236	△238	△139
増減率 (%)	△10.5	—	—	—

(単位: 百万円)

3. 業績予想の修正理由

当連結及び個別会計年度におきましては、中期ビジョンに沿って、新たな成長モデルの構築を目指し、e サプライ事業の運用を開始し、また公益企業グループとの取引も大きく拡大するなど、第3四半期までは、概ね計画に沿った推移を辿って参りました。しかしながら、第4四半期においては、売上高につきましては、新たなビジネスモデルの展開(*)による構造変化のため商品売上高の一部がフィー収入に移行したこと（但しこの要因による利益面での負の影響はございません）、及び、事業開始後の本格稼働時期が、古紙配合比率偽装問題等もあって当社の想定よりも遅延したこと、により当初予想に対し未達となりました。

利益面では、事業拡大を見越した投資や人員拡充のコストを、当年度内には十分にカバーできず、平成20年5月期における連結・個別の営業利益、経常利益及び当期純利益は予想数値を下回ることとなりました。

(*)平成19年11月27日付の「富士ゼロックス株式会社との業務提携に関するお知らせ」をご参照願います。

(注記事項)

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成のため、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上